

インフルエンザ(2025年第50週)疫学情報 《コメント》

2025年第50週の定点当たり報告数は36.96(患者報告数142,434)となり、前週の定点当たり報告数38.51よりも減少した。都道府県別では宮崎県(99.93)、福岡県(75.39)、鹿児島県(75.14)、香川県(63.65)、熊本県(62.92)、長崎県(60.00)、山口県(57.75)、高知県(56.37)、大分県(56.28)、愛媛県(55.05)、岡山県(53.68)、島根県(53.25)、徳島県(52.61)、愛知県(51.79)の順となった。全国47都道府県中、20都道府県では前週の報告数よりも増加し、27都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,899例であり、前週(1,951例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(132例)、1～4歳(315例)、5～9歳(218例)、10代(135例)、20代(45例)、30代(33例)、40代(43例)、50代(51例)、60代(132例)、70代(264例)、80歳以上(531例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第46週～2025年第50週)では、AH3亜型が521件(97%)、B型が12件(2%)、AH1pdm09が3件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。